

# もののがたりを よみひる

正解  
答数

5

できだがな  
（）

つぎの 文しょうを よんで、下の もん  
だいに こたえましょ。

「さとるは みのるくんに じてんしゃの  
のりかたを おしえて もらって います。」

「さあ、もう いちど やって ごらん。」

みのるくんが いいました。

「ぼく、もう やめたつと。足を いたく  
しちゃったんだもん。」

さとるは かおを しかめました。

「そんな ことじや だめだよ。なんども  
たおれて、いたくして、それで、のれ  
るようになるんだもん。そう しなく  
ちゃ、いつまでたつても、うまく な  
れないよ。」

さとるは、ためいきを つきながら、ま  
たじてんしゃの サドルに こしを お  
ろしました。

なんども ころんやり、けがを しなく  
ては うまく なれないなんて、じてん  
しゃって、まったく へんな のりものです。  
こんな のりものなら、かつて もらう  
んじや なかった、と、さとるは おもい  
ました。

「さあ、ハンドルを かるく にぎつて、  
おもいっきり ペダルを ふんで ごら  
ん。」

みのるくんが、先生みたいに いいま  
した。さとるは ちからを こめて、ペダル  
を ふみました。

みのるくんの 手が はなれました。  
それでも さとるは、むちゅうで ペダ  
ルを ふみました。じてんしゃは ぐんぐ  
ん はしりだしました。

(大石真 「さとるのじてんしゃ」より)

年 組くみ

番

名前

(1) さとるは かおを しかめましたと あ  
りますが、なぜですか。つぎから 一つ  
えらびましょう。

1 とても つかれたから。  
2 みのるくんが こわいから。

3 足を いたく したから。 ( )

(2) みのるくんは じてんしゃに のれるに  
はどう しなければ ならないと いつて  
いますか。 ( ) に あてはまる ことばを  
文しょうの 中から ぬきだしましょう。  
なんども ( ) 、  
いたく する こと。

(3) じてんしゃを うまく のれない さと  
るは、どのように おもいましたか。つぎ  
から 一つ えらびましょう。

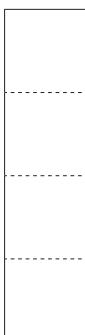
1 かつて もらうんじや なかつた。  
2 ぜつたい のれるように なるぞ。  
3 なぜ みんな のれるんだろう。

( )

(4) みのるくんが さとるに おしえる よ  
うすを たとえた ことばを、文しょうの  
中から 五字で ぬきだしましょう。



(5) さとるが じてんしゃの れんしゅうを  
して いる ときの ようすを あらわす  
ことばを 文しょうの 中から 四字で  
ぬきだしましょう。



## やのがたりを もみじる

(5) (4) (3) (2) (1)

3

たおれて

1  
先生みたい  
むちゅう